



## 埼玉縣三峰神社への自動車登山道路

海拔三千七百尺の秩父靈地三峰神社への自動車登山道路築造計畫は着手後三ヶ年目に當る本年度に至り根本的計畫を樹立して速成を期することとなつた。

同登山道路の總延長は一萬四千メートルにして、七、八兩年度に於てその内一千五百メートルを施行したので、残り一萬二千五百メートルを總工費二十萬圓を投じて、昭和九年度より三ヶ年間に完成さす豫定である。

## 埼玉縣の優良工夫の表彰

埼玉縣下を縱横に走る國道縣道の維持管理を完全にするために計畫設定された同縣道路愛護規程による最初の表彰式は、七月十一日午前十時より縣會議事堂に於て開催され、同日優良工夫として賞状賞金を授與されたものは左の如くである。

(一) 一等浦和の寺尾惠之助、川越の黒田  
する様内務省に交渉中である。

## 關東地方

### 東京府の秋川橋

東京府下五日市町秋川・金子五日市間府道に架る新秋川橋は總工費二萬圓を投じて目下工事中であるが、八月末までには完成の豫定である。

東京府下五日市町秋川・金子五日市間府道に架る新秋川橋は總工費二萬圓を投じて目下工事中であるが、八月末までには完成の豫定である。

尚ほ、同橋が完成したならば、明治四十二年に架設された府下でも珍しい綺麗な橋である舊秋川橋が廢止されるので、秋川渓谷の一名橋が無くなると非常に惜まれてゐる。

長五郎、熊谷の高橋益三郎、岩槻の竹内三郎

(二) 二等 浦和の小峰秋藏、川越の相原豊平、同小島伴吉、松山の荒川辰五郎、秩父の若山幸衛、本庄の戸谷壽三郎、熊谷の島田弁藏、忍羽の島才一郎、杉戸の大塚金藏、同小森谷敬三

### 埼玉縣荒川治水橋の開通

埼玉縣北足立郡馬宮村地内荒川に架設中

なりし治水橋は、總工費三十二萬四千八百圓を投じて、四年前に着手されたものであるが、今回見事に完成したので、七月二十三日盛大なる開通式が挙行された。

同橋は、埼玉縣下第二の長橋にして、延

長六百二十七メートル九〇、有効幅員五メートル五〇の鐵橋である。尙、同橋は、入間方面と新國道とを繋ぐ同縣交通上重要な橋梁である。

### 栃木縣湯本・三本檜間の登山道路

北陸地方

橋にして、橋面はアスファルトにて鋪

栃木縣那須湯本・三本檜間の新登山道路

は、兼ねてより太田原營林署に於て銳意工

事中であつたが七月十日見事に完成した。

同登山道路は湯本から八幡、北湯、清水

平を経て三本檜に至る延長四キロ、幅員二

メートルのものにして、福島縣の甲子温泉

に連絡してゐる。これによりて登山客の享

ける利便も甚大であらう。

### 群馬縣萬年橋の開通

群馬縣吾妻郡岩島村郷原から原田に至る

萬年橋は、起工以來、鋭意工作を怠いでゐ

たが、今回見事に完成したので、七月十五

日同橋橋畔に於て盛大なる開通式が挙行さ

れた。

同橋は、關東耶馬溪の稱ある吾妻峠の幽

邃境に入る關門に當つてゐるので、これが

開通によりて探勝客は勿論一般の人車馬の享ける利便は甚大であらう。

### 新潟縣下三橋の開通

新潟縣下に於て最近見事に竣工し、開通

式を挙行したる橋梁は左の通りである。

(一) 大橋 同橋は新潟縣道葛塚・水原

線中の新井郷川に昭和八年八月より、

總工費一萬七千七百圓を投じて架設中

なりしが、見事に完成したので、七日

中旬に盛大なる開通式が挙行された。

尙、同橋は、延長三十六メートル六

〇、有効幅員六メートル六〇のケルバ

ー式鋼鐵拱橋にして、橋面はアスファ

ルトにて鋪装されたモダン橋である。

(二) 西川橋 同橋は新潟縣道巻町・間

瀬線中の西川に、昭和九年一月より、

總工費一萬一千五百十二圓を投じて架

設中なりしが、今回見事に完成したの

で七月二十三日盛大なる開通式が挙行

された。尙、同橋は延長十九メートル、

装されたモダン橋である。

（三）鶴橋 同橋は新潟縣中蒲原郡兩

川村酒屋より萩川村豊路津を經て小合新津小須戸白根方面へ通ずる小阿賀野川及び信濃川の合流點に、昭和八年十一月より架設中なりしが、今回見事に完成したので、七月廿四日午前十時盛

大なる開通式が舉行された。尙、同橋は西川、萩川の兩川を繋ぐ鐵筋コンク

リートのモダン橋である。

富山縣第二期道路改良路線

富山縣に於て昭和九年度事業として施工される第二期道路改良路線は、時局匡救事業に振り替へられた泊・舟見線、滑川・上

福光線の八路線を加へ二十路線にしてこれに要する總工費は四十五萬七千九百圓、

(内二十萬一千圓は振替線の工費)であるが、本年度に施行される十二路線は左の通

東北地方

新潟市電の自動車道

## 秋田縣大館町の道路鋪装

秋田縣大館町大館署前から停車場通り御成町二丁目に至る縣道の鋪装工事は、兼ねてより懸案となつてゐたが、總工費一萬七

岩手縣和賀郡中內村地内縣道大迫・黒澤

地方通信

りである。

三日市・舟見線△上市・大岩線△富山・

尻線の改良工事は、近く縣直營にて着工される由であるが、同改良工事は毘沙門橋より更木村の水電取入口に至る延長二十一メー

トル餘、幅員四メートル半の區間である。

この改良工事が完成した暁には、黒澤尻

より小山田村に至る區間は立派な自動車道

福井縣下製造十二號線

三

## 岩手縣珊瑚橋の開通

岩手縣高澤尻町地内に架設中なりし珊瑚橋は一ヶ年八ヶ月の日子を費して、今回見事に完成したので、七月二十二日盛大な開通式が舉行されました。

卷之三

同橋は、延長百七十三メートル、幅員五メートル半の長橋にして、同地方の交通上非常なる利便を與するであらう。

非常なる利便を與するであらう。

千三百圓を投じて、七月初旬着工され、八月下旬までに完成の豫定である。

同縣道の鋪装區間の總延長は八百メートル、幅員は七メートルにして、アスファルトで鋪装されるのである。

これが完成した暁には、驛前より新町入口まで延長一千六百メートルの大館の幹線道路が出来上ることになるので、町民はこれが完成を待望してゐる。

### 秋田縣八幡平の縱走路

奥羽アルプス八幡平は最近漸く一般に認められて來たので、秋田縣當局及び地元有力者の間に一昨年來、坂比平から八幡平、鹿湯を経て田澤に至る縱走路を自動車の交通出来る様に改良しようと計畫してゐたが、今同敷農工事費中から一萬五千圓を割當てられたのを機とし、地元の關直右衛門氏が私費五萬圓の寄附を申出たので、八月初旬から改良に着手することになつた。

### 山形縣泉田橋の開通

山形縣最上郡萩野村地内泉田川に架設中なりし泉田橋は、起工以來銳意工作を怠らずに、今回見事に達成したので、七月十八日午前十時、同橋上に於て盛大なる開通式が舉行された。

同橋は國道五號路線中に架設されたものであるが、開通により同地方の交通は非常に便利となるであらう。

### 福島縣大橋、田町兩橋の開通

福島縣白河町の向寺・田町間の阿武隈川に架設中なりし大橋並に田町橋は、總工費三萬五千圓を投じて、昨秋十月着工以來銳意工作を急いでゐたが、今回見事に完成したので、七月三十日盛大なる開通式が舉行された。

### 山梨縣の觀光道路

昨年山梨縣會を通過し、起債も認可された山梨縣の觀光道路改良計畫は總工費三十五萬圓にして五路線一橋のそれであるが、設計も全部完了したので土地買收手續の終了次第着工する豫定である。

最初に着工されたのは下部・本柄線(總工費十五萬圓)にして、富里村に道路改良事務所を設置し、七月初旬より工事を開始してゐる。同路線は、九年度に於ては、常葉より古關に至る延長六千二百メートルを改良する由である。これが完成した暁には、古關から照坂トンネル、久那土、月見橋を経て甲府に至る路線を一部分改修すれば、自動車が通行し得るのであるから、甲府と下部温泉とは自動車で連絡出来る様になるであらう。

### 東山地方

尙、以上の他に勝沼・笛子線(工費五萬圓)、甲府・靜岡線(工費七萬圓)、甲府・下諏訪線(工費三萬圓)、甲府・大宮線(工費一萬

國)及び舟山橋等の改良は下部・本橋線に引續き着工される豫定である。

### 山梨縣の林道

山梨縣に於ける九年度時局匡救事業中林道工事費は、十二萬七千六百十二圓であるが、その内譯は縣營林道が八萬七千二百五十五圓にして、工事箇所は二十一ヶ所、延長四萬九千二百九十六メートルであり、町村營林道が四萬三百五十七圓にして、工事箇所は三十二ヶ所、延長一萬六千八百六十四メートルである。而して、これらの工事は近く着工される豫定であるが、縣營林道中の大工事は御嶽昇仙峠自動車道路にして羅漢寺附近より仙娥瀧自在亭に至る林道開設工事の殘部である第一トンネル金渓ホテル附近より自在亭に至る工事及び本年度に拂下げられる東山梨郡三里村地内御料林開發計畫に基く同村廣瀧より西澤に通ずる約一里的林道開設の二つである。

### 岐阜市の都市計畫道路

岐阜市岐阜市が都市計畫道路網を樹立し、最初に着工した都市計畫道路網中的一部が今回見事に竣工したので、七月二日盛大なる竣工式が舉行された。

これは第一期事業に屬するものにして、

岐阜市金町八丁目の岐阜驛から長住町四丁目に至る一等大路第二類第一號線にして、

延長は二百四十メートル五四、全幅員三十メートル七三、中央車道及び兩側に歩道を設け、また車道の中央に長さ十八メートル、幅三メートルの植込地帯を造り、一連に公孫樹五本づつを植栽し、高麗芝を植付けまた歩道渠縁石に沿ふて七メートル毎に

岐阜市岐阜市が都市計畫道路網を樹立し、最初に着工した都市計畫道路網中的一部が今回見事に竣工したので、七月二日盛大なる竣工式が舉行された。而して、同工事は岐阜市金町四丁目から七丁目乃至の区域で長住町四丁目から徹明町電車通りに接続するものである。尙同工事區間の延長は五百二十八メートル四四、全幅員は二十七メートル三〇にして、この工費は四十一萬三千七百八十四圓である。

### 岐阜縣木曾川橋の起工

岐阜縣下の國道十二號線の改良着工と同工事に着工することになつた。同橋は羽島郡笠松町に沿ふて流れてゐる木曾川の上流に架設されてゐるものにして、架替工費は七十萬圓であるが、三ヶ年繼續事業であるため本年度の分は二十萬圓である。而して、架替へられる橋梁は鐵筋コンクリートの橋梁である。

### 岐阜縣「たげ橋」の開通

岐阜縣養老郡日吉村より同郡多藝村に至

これに次いで第二期工事が開始されるので、七月二日竣工式と同時に第二期工事の

たが、今回見事に竣工したので、七月八日盛大なる開通式が舉行された。

同橋は、牧田川に架設されたものにして延長は百十四メートル三三、幅員は四メートル五〇である。

## 東海地方

### 静岡縣下國道神明線の竣工

静岡縣濱松市が昭和八年度の都市計畫事業として施行した國道神明線は起工以來鋭意工作を急いでゐたが、今回見事に竣工したので、七月七日午前十時に盛大なる竣工式が舉行された。

同線は竣工と同時に昭和通りと改名されれたが、同所は市内商店街の中心地帶として將來町通りへかけて濱名銀座を出現するであらうと期待されてゐる。

### 静岡縣落合橋の開通

静岡縣の都田川沿岸用排水幹線改良工事

は起工以來七ヶ年目に本事業の最要部たる井伊谷川合流地點並に落合附近の小公園の設備等が完成したので、七月四日盛大なる竣工式が舉行された。

尙同時に落合橋も竣工したので、同日盛大なる開通式が舉行された。これによつて同地方の交通は非常に便利となるであらう。

## 近畿地方

### 府縣道奈良・大阪線の開通

大阪・奈良兩府縣を結ぶ重要幹線府縣道奈良・大阪線は兩府縣界の關門たる龜ノ瀬

に於て改修工事に續き大地亡りがあつたの

で、昭和六年五月以來交通杜絶の止むなきに至つてゐたが、昨年大阪府で府界までの大改修を行ひ、最近地にリ個所の改修も完成したので、奈良縣當局は六月二十八日大阪府當局と協議の結果、七月一日より同所の交通を許すこととなつた。

### 奈良縣松山町の道路鋪裝

奈良縣土木課では、松山町の町道並に縣道たる松山署より萬六に至る延長二百十メートルの道路を簡易鋪装する計畫を樹て、

これは満三ヶ年ぶりの交通禁止の解除にして、これによりて同方面の交通は非常に便利となるであろう。

## 大阪府下山田橋の開通

大阪府北河内郡山田村では、去る三月よ

り總工費四千五百八十八圓を投じて、同村宇田の穂谷川に架かれる山田橋を改築中であつたが、此程見事に完成開通した。

同橋は延長三十メートル、幅員三メートル六の鐵筋コンクリート橋にして、杉・沼線と穗谷川線とを連絡するものである。從つて、同橋の開通によりて自動車通行が可能になつたから、同方面の交通は非常に便利となるであらう。

く完成した。

同工事は、縣下では最初のものにして、硬質岩片にアスファルト乳劑舗装をなし、暑熱にも溶解する憂ひのない様にされてゐる。而して同工事に要した費用は一千五百餘圓であるが、その内三分の一は關係町村の區民の寄附によるものである。

## 中國地方

### 鳥取縣下の道路修理

鳥取縣西伯郡南部六ヶ村では、過般協議會を開催し、沿道の縣道西城線の道路修理を行ふべく決議し、七月九日早朝を期して各村より總員千八百六十名の道路愛護會員が出動して、道路の修理、側溝の清掃、沙利撒きなどを行ひ、非常な好成績を挙げたのである。

### 鳥取縣智頭京橋の開通

鳥取縣の智頭京橋は、昨年十月二十七日

總工費二萬一千二百二十七圓を投じて起工以來銳意工作を怠いでゐたが、今回見事に竣工したので、近く開通式を舉行する由である。

同橋は、延長三十六メートル九〇、幅員六メートル三〇、有効幅員五メートル六〇の鐵筋コンクリート丁桁連續桁橋である。

### 島根縣松江大橋の架替計畫

島根縣の宍道湖畔に偉觀を添へる松江大橋の架替計畫に就いては同縣土木課に於て銳意調査中であつたが、此程完成したので、内務省と打合の上次の如き純日本式の

橋梁に架替へられたこととなつた。

新橋は、延長は百三十七メートル、幅員は十五メートル、中央の車道は八メートル五〇、兩側の歩道は三メートル二十五にして、五徑間で水面下は新大橋と同じく井筒形とし、水面上は堅固なコンクリート橋脚の鐵橋であるが、橋面は鐵筋コンクリー

トにて鋪装し、裝飾は雅趣豊かな春日燈籠を兩側に六個づゝ付け十二個を配して照明し、擬寶珠高欄として欄干は全部花崗石を使用する由である。尚、橋の中央には約一メートル五十の展望臺を設け、宍道湖並に出雲富士の絶勝を橋上から觀賞出来る様にする由である。

### 山口縣下幹線道路の竣工

山口縣下關市では、先に擴張に決定した大坪金比羅鳥居前から了圓寺下までの道路に續いて了圓寺下から新地嚴島神社前まで延長三百五十メートル、幅員三十二メートルの道路を失業應急事業として擴張改良することに決定し、七月五日の市會に提案したが、總工費は受益者負擔金と大藏省預金部よりの借入金によることとなつた由である。この工事が完成したならば、今蒲から幡生までの裏下關の幹線道路が完成し、面目を一新するであろう。

## 四國地方

## 徳島縣木津神橋の竣工

徳島縣撫養町木津新町と板野郡大津村木津野に通ずる撫養町大池川に架設中の木津神橋は、總工費一萬五千餘圓を投じて、起工以來銳意工作を急いでゐたが、今回見事に竣工したので、七月十七日盛大なる開通式が舉行された。同橋は延長百四十九間、幅員三間のコンクリート橋にして、そのモダン振りは同地方の人々の眼を樂ませてゐる。

## 高知縣寺川街道の竣工

高知縣吾川郡本川村長澤より寺川に至る延長四里の寺川街道は起工以來銳意工作を急いでゐたが、今回見事竣工した。これにより四國アルプスへの登山者並に石槌山への參拜者は非常な便利を享けるに至るのである。

## 高知縣下松葉川・檮原間 医救道路の竣工

高知縣高岡郡松葉川村から檮原村松原に通する道路は、時局匡救事業として、兩村當局によりて改良されつゝあつたが、今日までに完成せるものは檮原村では松原から建谷まで約二里半、松葉川村では字日野村まで約三里にして、未改良は僅か一里半であるが、これも近く竣工する由である。

同路線竣工の曉には、今までの兩村間の交通距離(舊十七里)は七里に短縮され、同地方の交通は非常に便利となるであらう。

## 九州地方

### 福岡縣久留米大橋の開通

福岡縣下の久留米と鳥栖を結ぶ久留米大橋は總工費二十四萬餘圓を投じて、昨年十一月架設工事に着手してより銳意工作を急いでゐたが、工事は順調に進行して、此種見事に完成したので、七月六日午前十時同橋々畔に於て盛大なる開通式が舉行された。これにより同方面的交通は非常に便利とな

るであらう。

## 熊本縣大津街道の松並木

熊本縣大津街道の杉並木は清正公以來傳はれる由緒深いものであるが、近來枯れて往時の壯觀がなくなつたので、宇野大津町長は關係市町村を叫合して杉並木保存會を組織し、これが保存に努めることとなつた。

尙當時賴山陽が詠じた

大道平々砥不如

熊城東去總青葉

老杉挾道無他樹 缺處時々見阿蘇の詩碑を豐肥線三里木驛附近に建立して、大いに行入を樂ましめる由である。

## 宮崎縣下自動車道路計畫

宮崎縣下の蔬菜の過半數を生産してゐる宮崎郡生自村では、交通不便のため、蔬菜の出荷に當りて、非常な苦痛を感じてゐたが、今回生自村から一直線に花ヶ島驛に至る自動車道路を計畫して、これを產業幹線道路として大いに蔬菜王國の實を擧げるこ

どになつた由である。

## 宮崎縣の林道

宮崎縣の山林は無盡藏の寶庫といはれてゐるが、昭和七年より同山林に林道の開鑿されたものは、三路線延長八萬メートルに及んでゐるが、九年度に於ては、追加開鑿することとなり、總工費五萬一千九百圓を投じて左の七ヶ町村にそれゝ一線づゝの林道を設けることとなつた。新に出来る七ヶ町村の林道の總延長は一萬七千メートルであるが、これが竣工したならば、同縣下の林道は總延長十萬メートルとなり、無盡藏の林產物搬出に利用されるであらう。

▲坪谷林道(鞍岡村)▲小河内林道(田原村)  
▲坪谷林道(東白杵郡東郷村)▲笛陰林道  
(同郡西郷村)▲小川林道(西良村)▲大  
谷林道(山村)▲庄内林道(庄内町)

## 朝鮮地方

## 京城・仁川間を結ぶ京仁 道路の改良

京城では、昭和六年度より窮民救済土木事業として、京城・仁川間を結ぶ京仁道路の改良を行ふてゐるが、昭和八年度に於ては、總工費九十八萬餘圓を投じて鶯梁津・永登浦間の道路を幅員二十八メートルに擴張、中央部は鋪装、兩側にグラタナスの香子歩道が設けたが、本年度は總工費三十餘萬圓を投じて永登浦・梧柳洞間素砂附近及び仁川附近の三區間の道路の幅員を二十二メートルに、其他の個所に於ては十二メートルに、擴張し二十二メートル道路には並木道を作ることとなつたが、着工は今秋の豫定である。

尙、京畿道當局では、十、十一兩年度にも引續き京城・仁川間の全道路の改良擴張工事を行ふ考への由である。  
従つてこの京・仁道路の改良が完成したならば、全鮮最初のドライブウェーとな

り、三年後に完成開通する京城漢江人道橋及び總督府の國費港灣改修二期計畫による仁川港の完成と相まつて、京城・仁川兩都市を結ぶ重要産業道路となるであらう。

## 臺灣

### 臺灣大溪吊橋の開通

臺灣新竹州大溪街は淡水河上流の沿岸にあるため、一度河水が氾濫すれば現在架設されてゐる木橋は押し流され、時代的な渡船による交通を餘儀なくされるので、地元民は不自由を嘆つてゐたが、昭和七年度に總工費十四萬餘圓を投じて大鐵線橋を架設することに決定して、同年八月起工以來銳意工作を急いでゐたが、このほど竣工したので、六月十六日盛大なる開通式が舉行された。

同橋は延長二百二十メートル、幅員五メートルの鐵筋コンクリートの大吊橋にして、豪快優美な姿を清流に横へ、臺灣十二勝の一たる大溪に一層の景觀をそへてゐる

(九、七、二五・記)